

# 主 主 主 でつながり とつながる

遠藤・武市

Cafe



01

全体のまとめ



# 提案

農業への取り組みを紹介し、つなげるWEBサイトの作成

## 提案の詳細

### コンセプト

土を通したつながりを大事にする

「小川町の農業を知る際の入り口となるもの」  
となるWEBサイト

### ターゲット

有機農業に少しでも興味を持ってくれた人  
子どもをきっかけに健康的な暮らしを送る人など、  
小川町の交流人口になりうる人がターゲット

### 内容

- ①WEBサイトを通して、多様な主体が取り組みを集積する拠点の作成
- ②WEBサイト内の地図を通して、小川町内にある多様な関係性・つながりを示す

# 02

## 提案に至るきっかけ





# 提案に至るきっかけ

10月の初めての調査  
でわらしべ・MOZART  
で小川町で作られた  
有機野菜を実食



体が喜ぶ感覚を覚え、有機  
野菜という物に感動する。  
ここから「小川町の農業」  
という物に興味を持つよう  
になった。





03

調査結果



# 調査：小川町での調査結果①

小川町の農業の「こだわり」～おがわんプロジェクト～



生産者が取り組んでいる創意工夫や努力を  
小川町が認定するもの

生産者A

生産者B

化学的に合成された肥料  
及び農薬を使用しない

小川町の資源の活用

環境に配慮した自然循環  
型の有機農業に取り組む



実際の販売風景

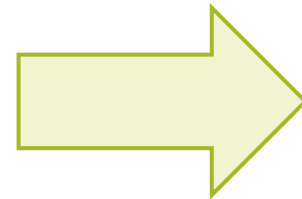
各々の取り組み・こだわりを  
さらに見えやすくしたもの

# 調査：小川町での調査結果②

小川町地域おこし協力隊(環境農林課)として活動する泉地さんへのインタビュー

## 取り組んでいること

- ①発行物の制作(おがわん通信・おがわんプレス・PGSパンフレット)
- ②マルシェの出店を通じた地元農業の推進・情報発信



## 今後取り組みたいこと

- ①地元食材を使った地元レストランのPRや地元の飲食店と地元農家をつなぐ交流を行いたい
- ②小川町の農業に関する情報入手手段がバラバラでありまとめたい
- ③農家さんの土づくりにかける創意工夫や想いを町として応援したい

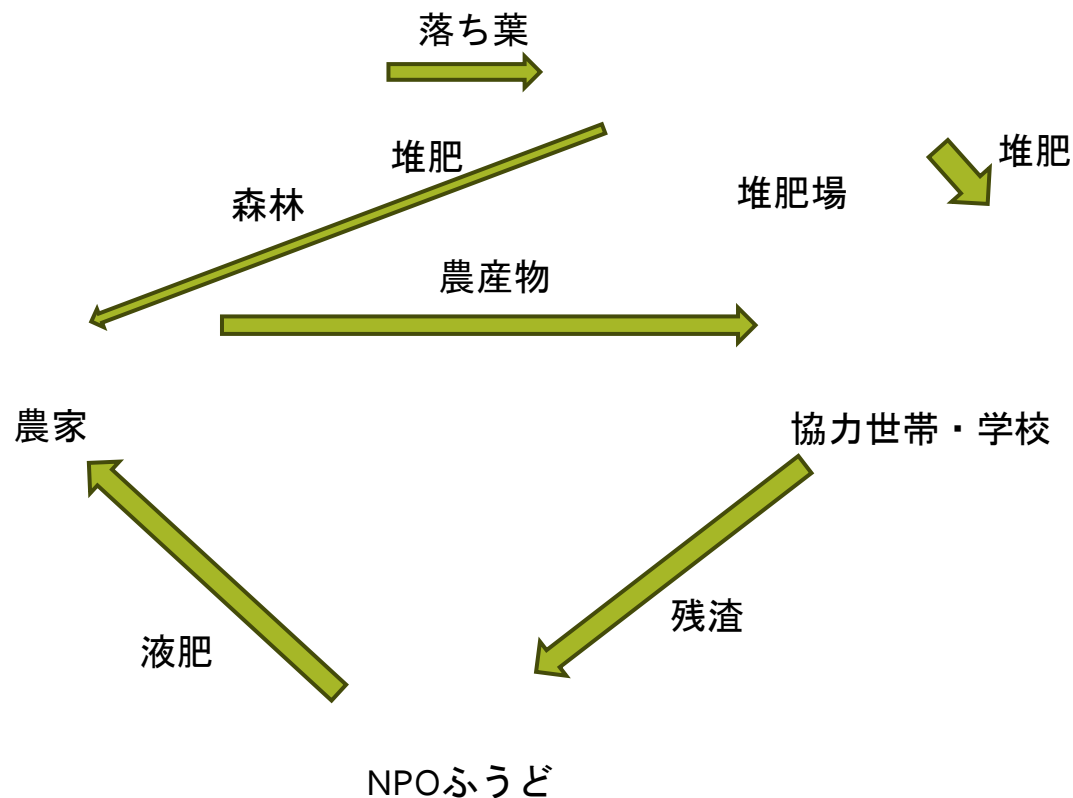


発行物：おがわん通信

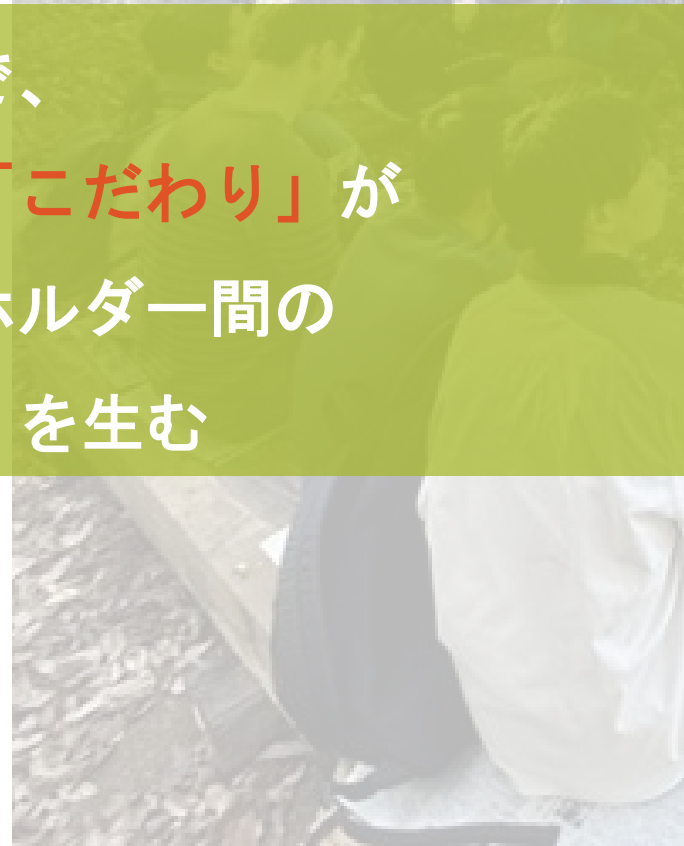
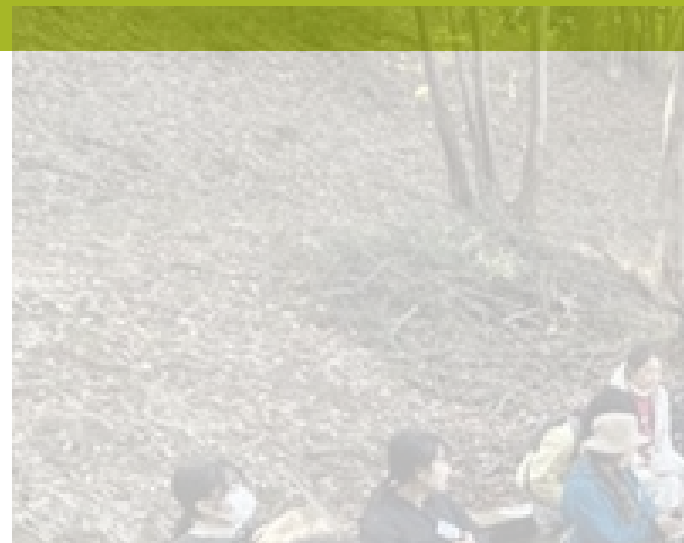


# 調査：小川町での調査結果③

小川町の農業の「繋がり」～ぐるぐるツアー～  
「こだわり」が「繋がり」に



小川町の中で、  
土に関する「こだわり」が  
各ステークホルダー間の  
「つながり」を生む



# 小川町以外での調査

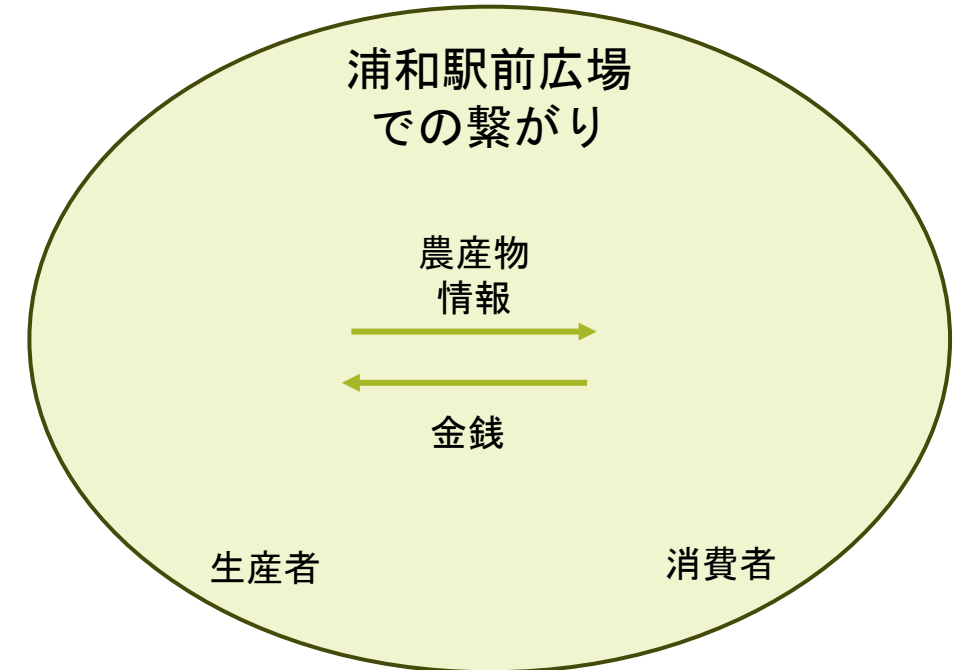
## さいたまオーガニックシティーフェス

→小川町以外での消費者と生産者の「繋がり」を発見  
(浦和駅東口パルコ前)

### イベント内容

- ①有機農家にさよる農産物や加工品の販売
- ②農的ワークショップ
- ③イベントステージの展開

繋がり：出店ブースを通したユーザーと農家の交流



販売風景(筆者撮影)



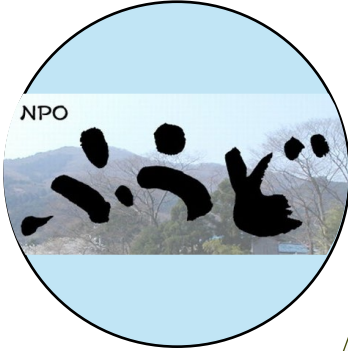
農産物の販売(筆者撮影)

# インターネット調査

## 小川町の農業の現状を調査

LINEでイベント情報などを伝える取り組み

金子さんを中心とした生産グループ



刊行物でおがわの情報を伝える。



→入手手段がバラバラになっている



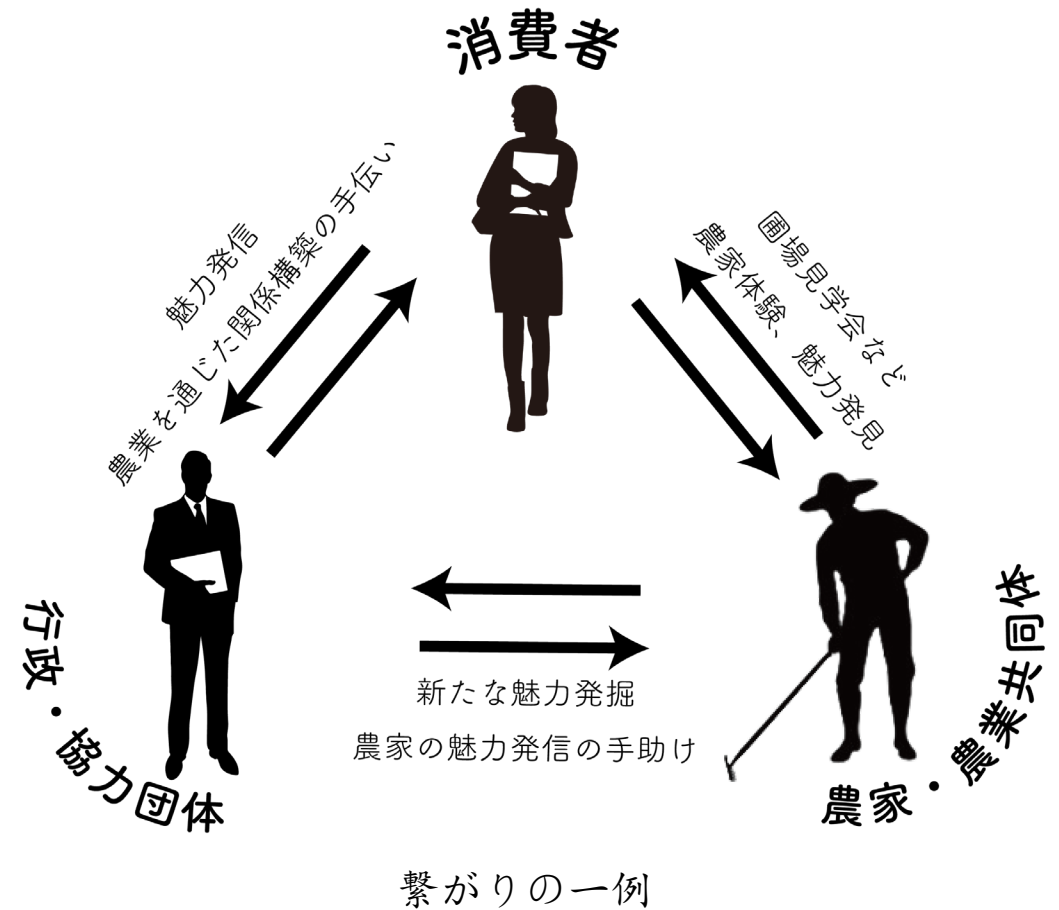
# 04

## 調査からみた魅力・課題点



# 調査から見えた魅力

調査から、産消提携による  
「消費者-農家」間、堆肥を  
利用することなどによる  
「山-畑」間など多くの魅力  
的つながりが見えてきた



# 調査から見えた課題

## 生産者側の問題点

- ・ 生産者側それぞれのこだわりが強く、全体としてのまとまりが作りづらい
- ・ 有機農家と慣行農家の対立が生まれやすい

## 支援側の問題点

- ・ 小川町の生産者各々のこだわりが強く、統一的な認証・プラットフォーム/消費者側も分かりにくい
- ・ 生産者側のグループが存在しにくく、新規の人のコミュニティが生まれにくい

## 消費者/魅力発信の問題点

- ・ 消費者にとって統一された発信拠点が存在せず、発信拠点がバラバラとなっている
- ・ 農家が個人個人で顧客を抱え、統一的なものが作りにくい、まとまりにくい

その中でも特に  
「消費者/魅力発信の問題点」  
に注目する



こだわりによってうまれる  
「つながり」



こだわりは人をつなげる更なる  
原動力となる。  
これは私たちが実際感じたこと  
でもある。

散らばっている情報源



霜里学校

旧霜里学校の保存を中心として地域の  
交流の場作り及び都市農村交流事業を  
行っているNPO



小川町有機農業生産グループの紹介

中央に位置し、東武線や秩父の山々に囲まれた盆地です。そんな地理条件が  
耕してきました。私たちの有機農業も一つのものを専門に作るのではなく、非  
常をえています。



できた金子美登氏のもとで学んだ人たちが、そのまま小川町で独立し、個性が  
な仲間を呼んで各々の農業を展開してきました。

小川町有機農業生産グループ  
小川町の金子氏を中心として集まっ  
た生産グループ

統一された発信拠点



生産者各々のこだわりを、  
おがわ型農業の特徴でも  
ある様々な「つながり」  
という形で示したい

05

提案







# 農業への取り組みを紹介し つなげていくWEBサイトの作成

小川町の農業への取り組みを集積し、取り組みによる  
それぞれの繋がりを図にして示す。



# 提案の方向性

## ターゲット

・小川町をきっかけとして、農業に興味を持った人(小川町の暮らしにあこがれている人)

・子供が生まれるなどをきっかけとして、有機野菜に興味を持った人

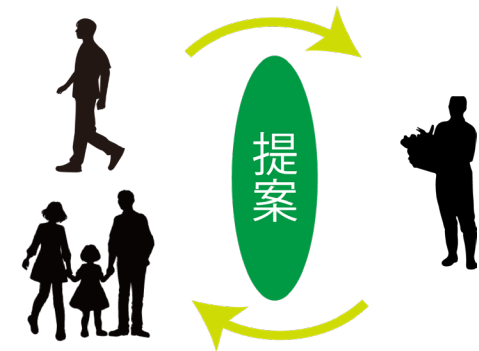


## 条件

- ・手軽にアクセスできるもの
- ・生産者のこだわりをつぶさない
- ・その上で、わかりやすく伝える

## 方向性

生産者と消費者を手軽につなげていく、という部分でWebサイトという手段を考えた。



# 実際作成してみたWebサイト



開発環境

Studio Design (<https://studio.design/ja>)

作成期間

2か月程度

作成サイト

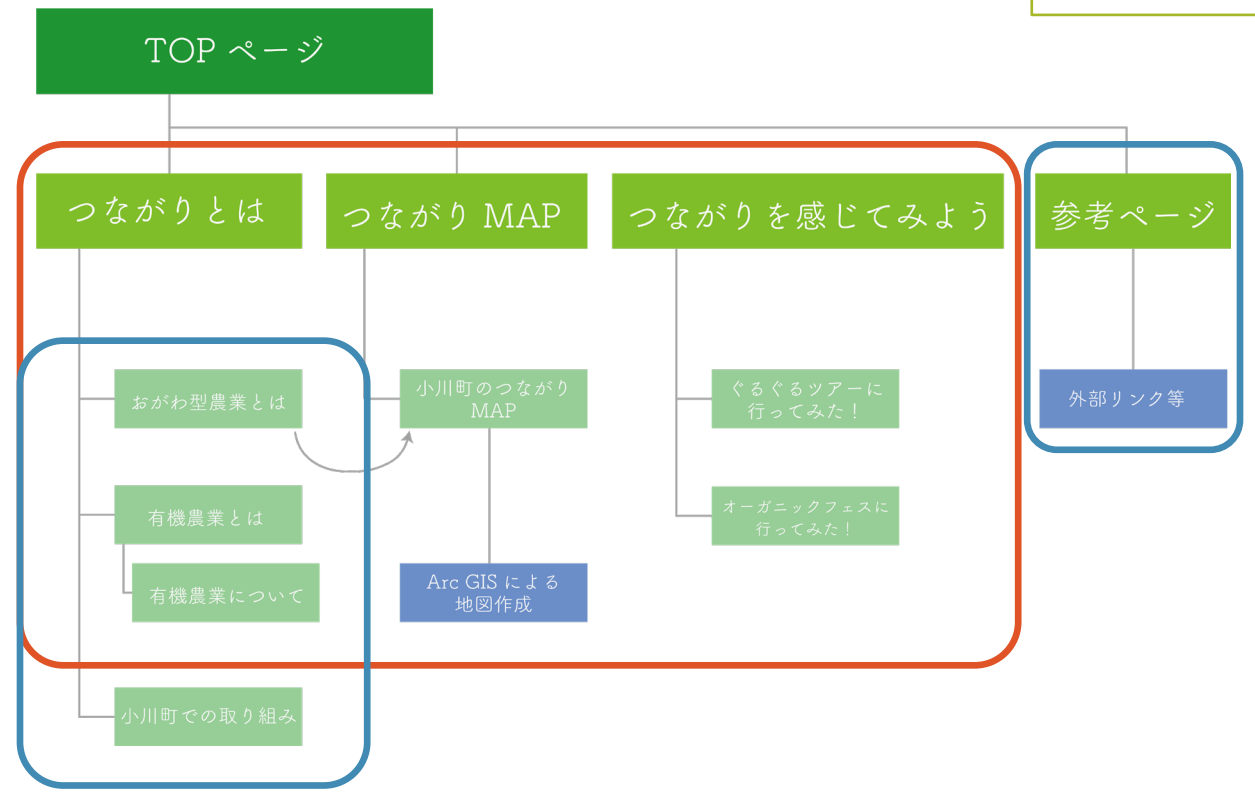
<https://ogawa-nogyo-site.studio.site/>

QRコード





# サイト構成



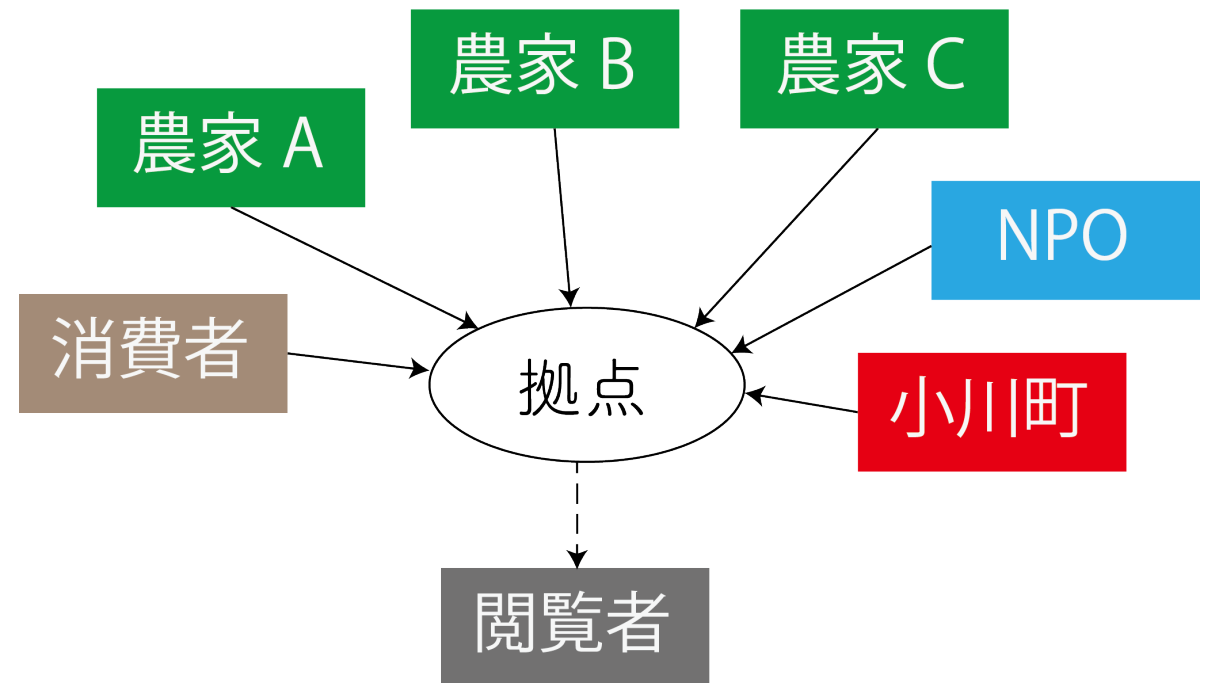
- :つながりを示す
- :発信拠点、情報の集積





# 提案の詳細①: 取り組みを集積する

小川町、農家、NPO、多様な主体が行う取り組みを集積する拠点とする。取り組みを集積し、それを閲覧できるようにするだけでも意義あるものであると考えた。





# 提案の詳細①:取り組みを集積する



## 小川町の取り組み

小川町が行っている取り組みをポップアップ形式で集積・紹介している。

小川町は農業に限らず様々な取り組みを行っているため、それらを網羅できるコンテンツにしたい。



## 団体・取り組み

様々な団体・取り組みを垣根なく集積していく。

名前とリンク、4つのタグで分類し、倉庫のようにひたすら集積していく。

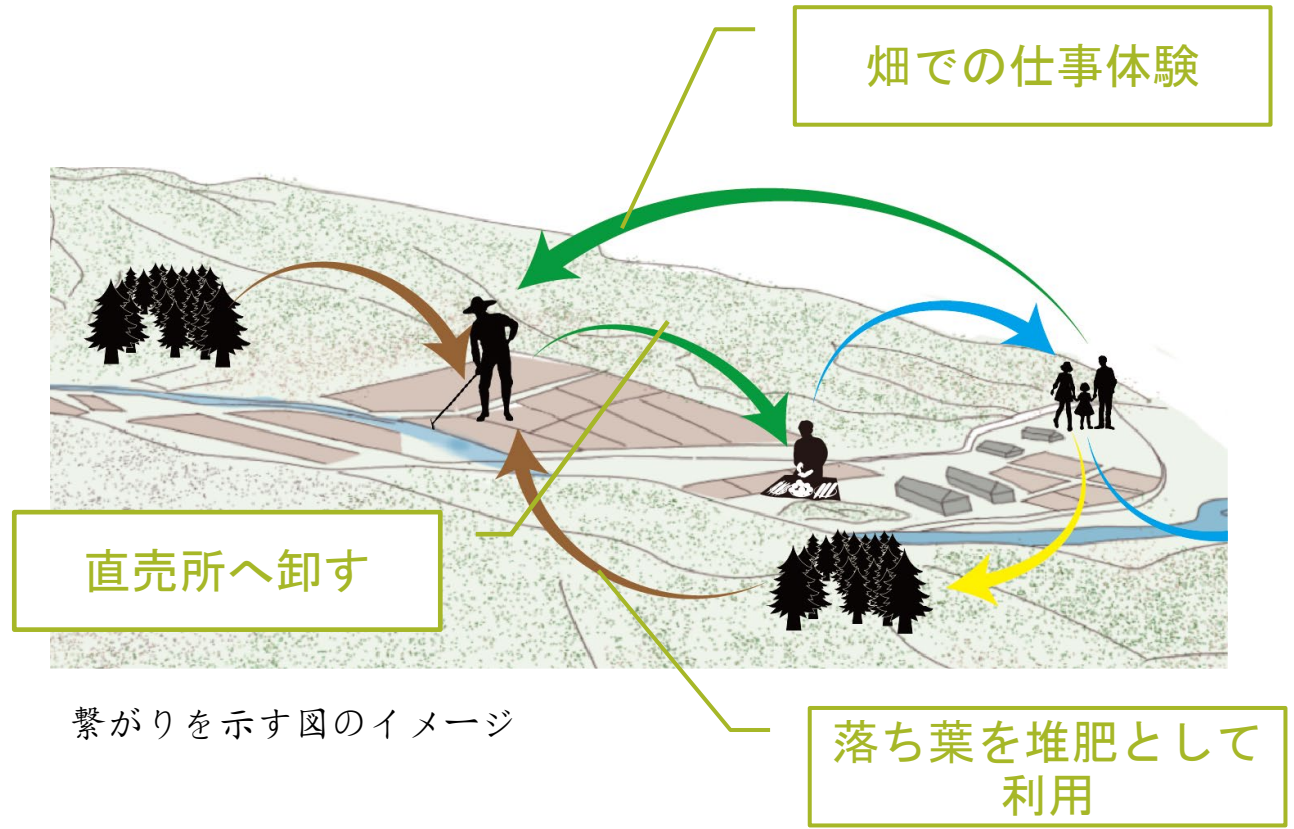


# 提案の詳細②:つながりを示す

小川町では生産者と消費者、  
山と畑など多様な関係性  
「つながり」を生んでいる。

↓

多様な関係性を地図に落とし込む



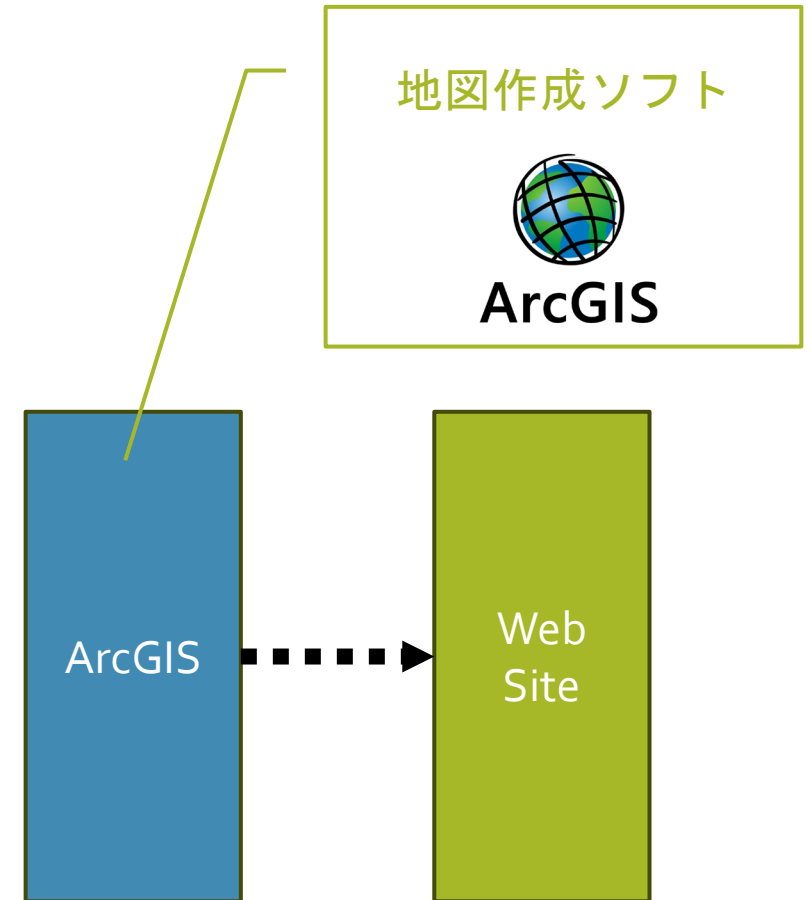


# 提案の詳細②:つながりを示す



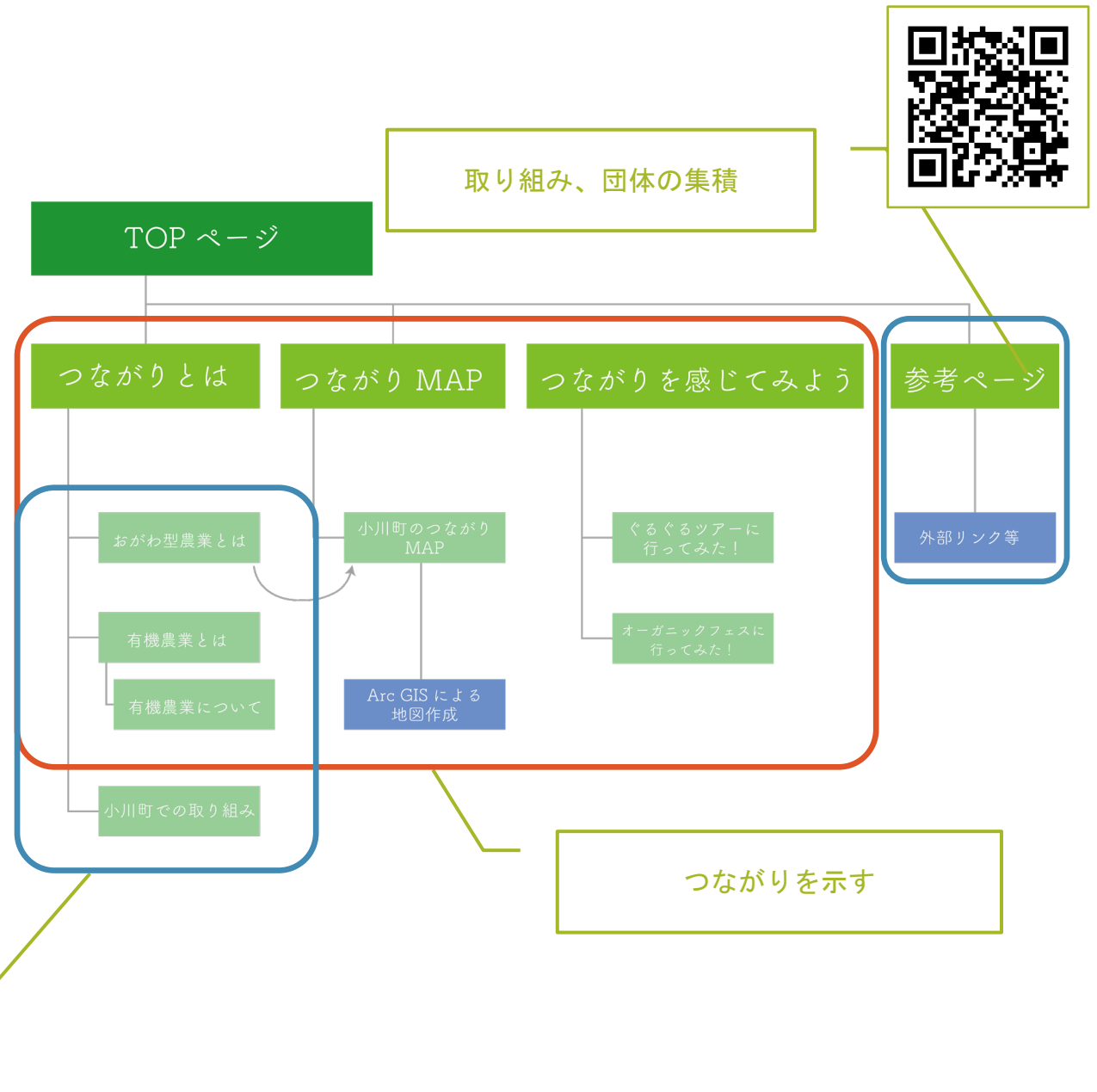
## ▶ ArcGISを利用した繋がり図

ArcGISという地図作成ソフトを利用し、人と人のつながり、人と自然のつながりをピンや矢印で示した。それぞれの矢印にはポップアップができるようにし、どのようなつながりがわかるようにした。





# サイト構成



06

## 発展の可能性





# 地域交流への利用



地域でのイベントの際の申し込みや取り組みの宣伝など新たなつながりの場としても活用できるのではないかと考えている。

ご清聴ありがとうございました！